

人口転換と家族制度

田中 重人

(東北大学 文学部)

<http://tsigeto.info/seiryu211102.pdf>

「人口」とは

population / demography

- 人が何人いるか
- 増減
 - 出生・死亡・移動

家族 / 親族

family / kinship

- 親子
- 夫婦
- これらによる人間関係のネットワーク

人口転換

demographic transition

近代化にともなう**出生と死亡の減少**

家族制度

family institution

親子関係・夫婦関係に関連して

人々の行動を規定する社会的な仕組み

年齢と死亡率 (2020 年、女性)

年齢	死亡率
0-9 歳	0.2%
10-19 歳	0.1%
20-29 歳	0.2%
30-39 歳	0.4%
40-49 歳	0.8%
50-59 歳	1.9%

年齢	死亡率
60-69 歳	3.8%
70-79 歳	9.8%
80-89 歳	32.1%
90-99 歳	79.6%
100 歳-	100.0%

政府統計の総合窓口 (<https://www.e-stat.go.jp>)
「令和 2 年簡易生命表」第 2 表 (女性) 2021-07-30

年齢と生存数 (2020 年、女性)

(ゼロ歳時に 1000 人からスタート)

年齢	死亡率	生存数
0-9 歳	0.2%	998
10-19 歳	0.1%	997
20-29 歳	0.2%	994
30-39 歳	0.4%	991
40-49 歳	0.8%	983
50-59 歳	1.9%	964

年齢	死亡率	生存数
60-69 歳	3.8%	928
70-79 歳	9.8%	837
80-89 歳	32.1%	569
90-99 歳	79.6%	116
100 歳-	100.0%	0

年齢と死亡率・生存数 (1930年、女性)

(ゼロ歳時に 1000 人からスタート)

年齢	死亡率	生存数
0-9 歳	21.7%	783
10-19 歳	5.7%	738
20-29 歳	9.5%	668
30-39 歳	8.8%	609
40-49 歳	9.8%	549
50-59 歳	14.7%	469

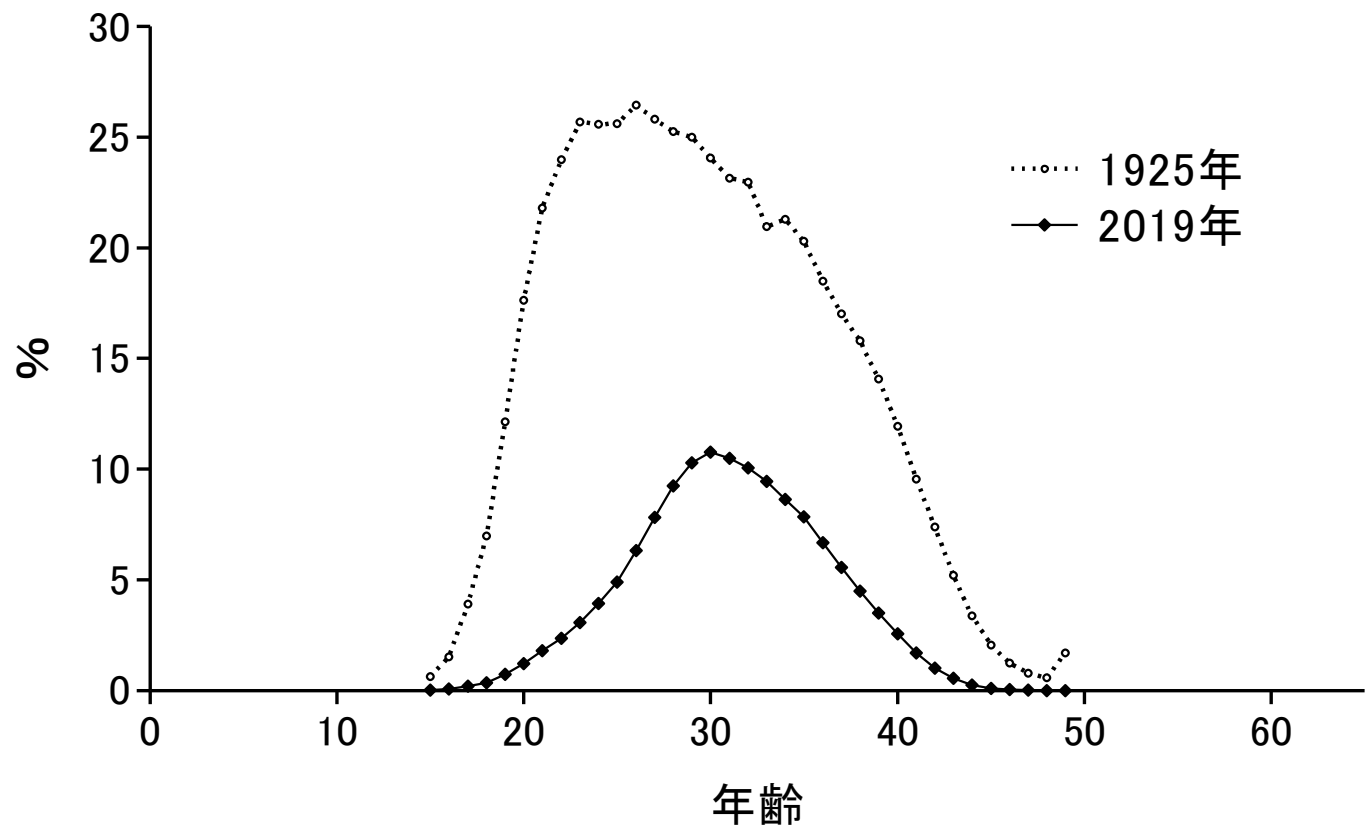
年齢	死亡率	生存数
60-69 歳	29.0%	333
70-79 歳	56.9%	144
80-89 歳	88.5%	17
90-99 歳	99.2%	0
100 歳-	53.8%	0

総務省統計局「日本の長期統計系列」第2章「人口・世帯」表 2-35「完全生命表」
<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286615/www.stat.go.jp/data/chouki/02.htm>

死亡率低下の原因

- 栄養
- 衛生
- 医療

母年齢別出生率



合計特殊出生率: 5.10 (1925), 1.36 (2019)

国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2021)」表4-9(女性の年齢(各歳)別出生率: 1925~2019年) <http://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Popular/Popular2021.asp?chap=4>

出生率低下の原因

- 死亡率低下
- 中絶・避妊法の普及
- 生活様式の変化
- 子供数を制御する意識の普及

近代化と人口転換

多産多死



多産少死



少産少死

人口転換の社会への影響

- 個人の人生計画への影響
- 社会の仕組みへの影響

家族に関連する制度

- 「結婚」とは
- 「親」はどうやって決めるか
- 夫婦間、親子間の権利と義務
- 亡くなったあとの財産
- 争いがある場合

現在の日本の法律では：

- 個人主義
(集団としての家族は存在しない)
- 婚姻と親子の関係を独立に規定
- 争い事は家庭裁判所へ
- 平等性と未成年者の福祉

前近代の日本では？

「イエ」(家)を単位とする自治

現代の社会と江戸時代の社会

- 総理大臣 →
- 宮城県知事 →
- 警察 →
- 総合商社 →
- アパレルメーカー →

現代の社会と江戸時代の社会

- 総理大臣 → 徳川家
- 宮城県知事 → 伊達家
- 警察 → ○○町奉行
- 総合商社 → ○○屋

アパレルメーカー →
○○屋系列家内工業

「イエ」制度とは

- 世襲制の家業
- イエの永続・繁栄が目標
- あとつぎ(1人)と労働力の確保が重要
- 拡大できれば
→分家をつくって同族集団を拡大

近代社会の特徴

- 機能分化
(政府、企業、団体、保険……)
- イエの機能縮小

- 総理大臣 ← 選挙 + 国会指名
- 宮城県知事 ← 選挙
- 警察 ← 公務員 (試験)
- 総合商社 ← 株式会社
- アパレルメーカー ← 株式会社

現在でも、小企業、農林漁業、各地域の生活組織などは、イエの仕組みで成り立っていることが多い

近代社会の家族に残ったもの

- 生活の共同
- 生殖
- 子供・高齢者・病人などの世話と扶養

日本では…

- 20 世紀初めに都市部で出現
- 高度成長期（1960 年代）までに一般化

少人数の子供を大切に育てる

- 子供そのものが大切
- 手間とお金
- 報酬なし
- 要求水準はすごく高い
- やろうとする人が少なくなる

近代社会の人口問題

人口転換は近代化の必要条件

- 医療・衛生・栄養の改善

→ 死亡率低下

- 家族制度の近代化

→ 出生率低下

出生率が下がりすぎると

- 高齢化にともなう経済的負担
- 長期的に社会が維持できない

近代社会は持続可能か？

子供を育てる人の負担を下げる

→ 社会全体で育てる仕組みへの転換

欧州の一部で効果が確認されているが…

→ 普遍的な対策はあるのか？

→ 近代社会の次に来るもの

現代社会を見る視点

- 歴史との対話
- 他の社会との比較
- そのための統計と文献資料